



5年

11月号

11月14日

学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思ひます。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合つてほしいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思ひます。  
よろしくお願ひいたします。

## ★資料名

オーストラリアで学んだこと

## ★今回の道徳の授業のねらい

相手の立場や気持ちを考へて、礼儀正しく心の込もつた接し方をしようとする態度を育てます。

## ★お話のあらすじ

シドニーの日本人学校5年生の作文をもとにした内容です。シドニーの街角で、ある日の夕方、見知らぬ女の人に挨拶をされたことがきっかけとなっています。挨拶をされてとつさに返事ができなかつたことを残念に思ふ主人公です。

次の日の夕方、昨日の女の人に出会ひ、自分から「ハロー」と声をかけることができました。このことを通して、たとへ国は違つても挨拶の大切さは共通であることを知ります。これまでの自分を顧みて、これからの自分を考へられる、国際化にふさわしいお話です。

## ★子どもたちの授業の振り返り

- ☆あいさつをするのは、親しいひとだけじゃなく、他の人にもできたら良いと思つた。
- ☆あいさつをするときは、相手のことを考へて、先に自分からあいさつしたら良いと分かりました。
- ☆自分はまり相手のことを考へていなかったけど、授業で相手のことを考へながら、行動しようと思つました。
- ☆これからは、相手のことを考へて行動しようと思ひました。勉強を通して、あいさつをしようと思ひました。

## ★家庭で話し合つてほしいこと

人とのよい関係は、明るく挨拶を交わし合うことから始まります。また、礼儀正しくすることは、日常生活の基本的な生活習慣の中でも基本となるものです。道徳の時間を通して、お子さんが挨拶や礼儀の大切さについて感じたことなどを聞いていただくとともに、日ごろから大切にしたい礼儀作法をいっしょに考へてください。日常の挨拶などできることはさつそく明日からご家族みなさんで実行し、その気持ちよさを互いに感じ取つていただければと思ひます。